

令和8年度環境省行政事業レビュー外部有識者会合

議事概要

1. 日 時：令和8年5月15日（金）14：00～16：30
2. 開催方法：対面及びWEB会議
3. 有識者：

環境省選定外部有識者

おく まみ
奥 真美 東京都立大学都市環境学部都市政策科学科教授

たけがはら けいすけ
竹ヶ原 啓介 政策研究大学院大学教授

みのわ やすひろ
蓑輪 靖博 福岡大学法学部教授

よしたか
吉高 まり 一般社団法人バーチュエデザイン代表理事

内閣官房行政改革推進本部事務局選定外部有識者

かわむら さゆり
河村 小百合 株式会社日本総合研究所調査部主席研究員

どい たけろう
土居 丈朗 慶應義塾大学経済学部教授

ほりかわ よしかず
堀川 義一 株式会社リサリティ代表取締役

4. 議事次第：

- (1) 開会
- (2) 外部有識者紹介
- (3) 令和8年度行政事業レビュー公開プロセス対象事業の選定について
- (4) その他
- (5) 閉会

5. 議事概要：

○事務局より公開プロセス対象候補事業として、以下の7事業を提示。

- ・OECMを活用した健全な生態系の回復及び連結促進事業
- ・浄化槽システムの脱炭素化推進事業
- ・地域共創・セクター横断型カーボンニュートラル技術開発・実証事業
- ・金融機関を通じたバリューチェーン脱炭素化推進のための利子補給事業
- ・地域の公共交通×脱炭素化移行促進事業（国土交通省連携事業）
- ・地域脱炭素化出資事業
- ・石綿健康被害救済基金

○外部有識者からの主なコメント

■OECMを活用した健全な生態系の回復及び連結促進事業

- ・30by30 目標を見越し、どのように KPI を立てていくのか。箇所や面積だけでなく、全国のマッピングとか生物多様性の関係とか、色々と求めていかないといけない
- ・30by30 は面積でカウントするとのことだが、レビューシートを見て面積との連動性がよく分からない
- ・個所数、面積割合にとどまらず、活動やエリアの質的な側面をいかに担保していくのか

■浄化槽システムの脱炭素化推進事業

- ・執行率があまり高くない。3割、4割で、繰越しがあつてということで、執行率が低いということにどういう問題意識を持っているのか
- ・資金の流れについて、一般社団法人全国浄化槽団体連合会はなにをやっているのか。業界全体に対する補助金なのかみたいに見えてしまうところがある

■地域共創・セクター横断型カーボンニュートラル技術開発・実証事業

- ・社会実装後のフォローアップをしているかどうか

■金融機関を通じたバリューチェーン脱炭素化推進のための利子補給事業

- ・バリューチェーン全体を、というところが肝と思うが、アウトカムでバリューチェーンを巻き込んでいることが見えてこない
- ・サステナビリティ・リンクを地域でやる場合に、そちらも CO₂ や省エネの KPI をつけると思うが、

それとの兼ね合いはどのようになっているか

■地域の公共交通×脱炭素化移行促進事業（国土交通省連携事業）

- ・本事業はやり方を間違えると人口減少地域の公共交通の延命策になってしまうのではないかと

■地域脱炭素化出資事業

- ・未 EXIT 事業が終了するまでの期間のみ存続する事業であるとはいえ、JINC との関係（現行の仕組みとした理由）や執行管理のあり方、保有割合の妥当性など論点が多く想定される
- ・官民ファンドである株式会社産業革新投資機構(JIC)は、新規案件組成を停止した株式会社 INCJ を吸収合併し、INCJ の継続案件を承継している。脱炭素化支援機構(JICN)は、地域脱炭素投資促進ファンドの案件をなぜ承継しなかったのか

■石綿健康被害救済基金

- ・アウトカムの説明で迅速性を強調していた一方で、むしろカバレッジのところこそ政策効果があるのではないかと

○とりまとめ

外部有識者による投票の結果、「OECM を活用した健全な生態系の回復及び連結促進事業」1票、「浄化槽システムの脱炭素化推進事業」4票、「地域共創・セクター横断型カーボンニュートラル技術開発・実証事業」0票、「金融機関を通じたバリューチェーン脱炭素化推進のための利子補給事業」0票、「地域の公共交通×脱炭素化移行促進事業（国土交通省連携事業）」1票、「地域脱炭素化出資事業」6票、「石綿健康被害救済基金」1票であった。

補助金事業、基金事業のそれぞれで投票数の多かった「浄化槽システムの脱炭素化推進事業」及び「地域脱炭素化出資事業」の2事業を公開プロセスの対象事業とした。